

〈ミッション〉
自立
追究
共生



未来創造

松江市立義務教育学校
玉湯学園 だより
令和6年4月22日
文責 田中 修

教育重点目標： ジダイをリードし、あいにあふれた社会形成の力を育む
～自ら「気づき・考え・実行する」玉湯学園生のプライドをもって～

令和6年度がスタートしました

4月8日（月）、着任式に続き始業式を行いました。令和6年度のスタートです。

着任式では、新しく赴任した23名の教職員を児童生徒に紹介し、温かく迎え入れられました。始業式では、校長あいさつの後、担任や部活動顧問などの発表をしました。

玉湯学園スタッフを紹介します

前後期合わせて73名です。分かりづらい担当名は裏面でご確認ください。

『チーム玉湯学園』として、協働しながら教育活動に尽力します。保護者、地域の皆様にもご協力のほどよろしくお願いいたします。

担当等	氏名	担当等	氏名	担当等	氏名
校長	田中 修	にこ特	小笹 裕子	みのり学級担任	新田 容子
教頭	前島美佐江	にこサポ	曾田 瑞恵	のぞみ学級担任	中林 祥憲
教頭	和田 律央	5年主任担任	福井 恵	ゆうあい学級担任	門脇 洋子
1年主任担任	佐藤さゆり	5年担任	吉岡 宏幸	美術専科	嶽野 志乃
1年担任	中本 彩海	5年担任	新田 緑	数学専科	井上 典子
1年担任	坂本 悠	6年主任担任	戸屋 誠司	初任研指導	油谷 英明
1年担任	犬山 晶子	6年担任	石倉 啓順	にこ特	岩原由紀子
2年主任担任	澄川 明子	6年担任	三島 諒	介助員	吉田 京子
2年担任	板垣 恵美	たいよう担任	永末 晴菜	養護教諭	片岡 沙織
2年担任	多久和久美子	たんばぽ1組担任	小林 真嗣	養護助教諭	廣江 梨沙
3年主任担任	升谷 佳子	外国語・英語講師	亀本 晃平	学校事務	野口 美香
3年担任	石飛 彰太	初任研指導	廣江 俊二	学校事務	中村 裕実
3年担任	宮本はなの	7年主任	瀬崎 邦博	校務技師	吉野 正人
3年担任	堀江 徹	7年担任	伊藤 大貴	学校司書	石塚 晶子
4年主任担任	関野 恵愛	7年担任	竹下 侑也	学校司書	周藤三枝子
4年担任	米津 楽	7年副担任	黒崎 龍樹	サポートワーカー	今井 英昭
4年担任	田中 鮎美	8年主任	藤原 里香	地域学校Co.	内部佳代子
たけのこ学級担任	小草 弘恵	8年担任	金崎 萌恵	SSS	恩田みどり
たんばぽ2組担任	犬山 輝美	8年担任	小林 裕介	英語指導員	山本三恵子
ひまわり担任	實重 悦子	8年副担任	石倉 千草	SC	和田 衣世
社会専科	伊藤 雅美	9年主任	杉村 正樹	校務支援員	園山 裕加
専科(理・図・家・書)	福間 聖子	9年担任	樋原 健太	校務支援員	勝部 利久
音楽専科	大森なお子	9年担任	加藤ひとつ	ALT	ジェレミー メドクラフト
特支・支援員	田邊 未暁	9年副担任	林原 晴佳		

1年生の皆さん

入学おめでとう！！

4月9日（火）、元気いっぱいの新入生93名を迎えて、入学式を行いました。4年生と9年生が式場で参加し、他の学年は各学級でリモートでの参加でした。また、2年生が歓迎のセレモニーでお祝いしました。

私からは、1年生が元気に明るく生活できるように、2つの大事な「あ」の話をしました。

【あ】んぜん

☆決まりを守って、命を大切にしよう。

特に交通安全のために、ルールを守ろう。

【あ】いさつ

☆皆が気持ちよく生活するために、あいさつをしよう。朝や帰りはもちろん、特に大切な「ありがとう」「ごめんね」が言えるようにしましょう。



9年生による、生徒代表あいさつ



2年生による、歓迎セレモニー

これで、全校の児童生徒数は760名になりました。人数が30名も増えた令和6年度、ダイナミックな活動が展開されることを期待しています。玉湯学園生のプライドをもって、「玉湯学園だからこそできる、挑戦を！」「義務教育学校だからこそできる、挑戦を！」したいと思います。



↑ たくさんの祝詞をいただきました

← 4年生による、歓迎の言葉

来賓の皆様にご臨席賜り、また心温まる祝詞をたくさんいただき、入学式が華やいだものとなりました。ありがとうございました。

自分の命を自分で守ろう！

～交通安全教室(7～9年生)～

15日まで春の全国交通安全運動が展開されていきました。17日（水）には、7～9年生を対象に交通安全教室が行われました。

まずは交通ルールを順守し、自分の命を自分で守れるようにしましょう。それが、お互いの命を守る行動となります。



生徒代表お礼の言葉(7年生実技のあと)

全国学力・学習状況調査を実施

4月18日（木）に、6年生と9年生対象の全国学力・学習状況調査に取り組みました。

全国平均との比較が話題になりがちですが、学習したことが生きて働く知識・技能であるのか、活用することができるのかなど、学習状況を把握することが一番の目的となります。

令和6年度 玉湯学園経営方針について

玉湯学園は、義務教育学校として開校してから4年目になります。「石の上にも3年」という言葉があります。まさにこの3年間、児童生徒や保護者の皆さん、教職員や地域の皆さんが試行錯誤を繰り返しながら、様々な苦勞を乗り越えて義務教育学校の基礎をつくり上げてこられたことと思います。

今年も、その礎（いしずえ）を大切に、石垣をつくるように、活動を継続して一つずつ丁寧に積み上げをしていきます。

とは言え、予測困難で変化の激しい現代です。直面した課題には臨機応変に対応し、最善を尽くして教育活動を展開したいと考えています。保護者、地域の皆様にご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

教育目標 「未来を創造する」

サブテーマにある「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」は、具体的に「自立・共生・追究」として掲げられていました。今年度、少し順番を入れ替え「自立・追究・共生」としました。まず、個の力（自立・追究）を伸ばし、お互いの力をつないで（共生）、よりよい社会を創造してほしいと願っています。

↓

そのために、今年度の重点として考えているのは・・・

ジダイをリードし、

あいにあふれた社会形成の力を育む

ジダイとは、今の時代と次世代の両方を意味します。義務教育学校は、今までの学校制度（6・3制）の課題に対応した小中一貫教育です。一貫教育だからできる「4・3・2制」の特性をフルに生かして、他校にはできない教育活動を展開し、児童生徒が今現在はもちろん、次代をリードする人材となつてほしいと願っています。そして、社会に受け身で参加するのではなく、よりよい社会を積極的に創造する力を育んでいきたいです。

また、あいにあふれた社会を形成するとは、「認めあい」「支えあい」「高めあい」のことであり、それが愛をもってつながれば、一人一人が豊かに生きる社会になれるのではないかと考えました。

↓

自ら「気づき・考え・実行する」 玉湯学園生のプライドをもって

今年度は、いろいろな場面で、課題に気づき、多面的・多角的に個人で追究し、あるいは多くの人と協働して考えを深め、正しい判断をして実行に移してほしいです。それが、教育目標の実現につながると考えています。苦しいことや辛いこと、上手くいかないこともたくさんあるでしょうが、玉湯学園生のプライドをもって乗り越えてほしいと思います。きっと、未来創造の力が身につくと想像しています。

後期ブロック始業式のあいさつでは、少しでも「気づき・考え・実行する」プロセスについて話をしました。

少し理屈っぽい話になりました。以上のことをまとめて、「玉湯学園 学園経営グランドデザイン」を示しました。

図を見ながら、本学園の教育活動の全体像をイメージしていただければ幸いです。



「にこサポ」にここにサポートに係る非常勤講師です。

「にこ特」特別な支援のための非常勤講師です。

*いずれも島根県教育委員会の事業です。本校では、前期課程で通常学級に、前期・後期課程で特別支援学級についてサポートをします。

「初任研指導」初任者研修の対象となる新任教員の研修指導を担当する教員です。

「サポートワーカー」児童生徒の相談活動や見守り、関係諸機関との連携などをする役職です。

「地域学校 Co.」ボランティアや地域活動のコーディネートを行います。

「SSS」スクール・サポート・スタッフの略です。教員の庶務的な仕事をサポートします。

「SC」スクールカウンセラーの略です。児童生徒、保護者や教員に対し、希望によりカウンセリングをします。